

連合長崎第36回地方委員会開催

「傷んだ雇用・労働条件」の復元をめざし、
2013春季生活闘争・第23回参議院選挙を勝利し、
働くことを軸とする安心社会を実現しよう!

連合長崎は、2013年2月12日（火）13：30から長崎県勤労福祉会館において第36回地方委員会を開催しました。

森会長はあいさつで4つの取り組みについて提起を行いました。

- ①働くことを軸とする安心社会実現の取り組み
- ②2013春季生活闘争の課題
 - 賃金の回復
 - 働く者すべての処遇改善
 - 労働時間短縮、人口流出への対策

③地協再編統合後の活動強化の取り組み

④政治活動の取り組み

また、最後には第23回参議院議員選挙勝利のための協力要請を参加者に訴えました。

来賓あいさつのおと、一般活動経過報告、2013年度会計報告が満場一致で承認され、第1号議案から第5号議案までの各議案、スローガン、地方委員会アピールが承認されました。最後に2013春季生活闘争の勝利に向け全力で取り組むこと、第23回参議院議員選挙勝利を確認し、森会長のガンバロー三唱で閉会しました。

議長
自治労 米村委員、情報労連 本多委員



来賓あいさつ
民主党長崎県総支部連合会 川越代表



来賓あいさつ
社民党長崎県連合 吉村代表



来賓の皆さん



承認された議案

第1号議案 連合長崎2013春季生活闘争方針（案）

（主な内容）連合本部方針に則り、構成組織・地協と連携し、闘争本部・中小闘争本部を立ち上げ、取り組みを進めていく方針が承認されました。

第2号議案 2013年度連合長崎組織拡大方針（案）

（主な内容）組織拡大は通年の取り組みとして展開することを基本に、年間1,500名の組織拡大を実現するため全力で取り組むことが承認されました。

第3号議案 2013年度政治活動（案）

（主な内容）第23回参議院議員選挙勝利・2013年（2月12日以降）に施行される各種選挙への推薦候補全員の勝利に対する取り組み方針が承認されました。

第4号議案 連合長崎 政策・制度の取り組み（案）

（主な内容）2013年度政策制度要求の具体的な取り組み、連合「2014-2015年度 政策・制度要求と提言」に対する取り組み方針が承認されました。

第5号議案 連合長崎役員交代（案）

（主な内容）渡邊昭吉副会長が石井健次副会長に交代（UAゼンセン）し、鹿垣 亨執行委員が高井良芳執行委員に交代（五島地協）しました。

大久保潔重 参議院議員



宮崎博通 諫早市議会議員



林田保 諫早市議会議員



中野良雄 西海市議会議員



宮崎事務局長



石井健次 新副会長



連合長崎第36回地方委員会アピール

連合長崎は、本日、第36回地方委員会を開催し、2013春季生活闘争、組織拡大、第23回参議院議員選挙などの諸課題への取り組み方針を力強く決定した。

経団連は1月22日、「経営労働政策委員会報告（経労委報告）」を発表した。「グローバル競争が一段と厳しさを増す中、日本企業は長引く円高とデフレ、税・社会保険料などの重い負担、経済連携の遅れ、行き過ぎた温暖化政策、電力の供給不安とコスト上昇など、非常に厳しい事業環境に直面している」中で、「民間企業は明確なビジョンを持ち、自らイニシアティブをとって、新たな成長の機会を切り拓くべく果敢に挑戦を続けていかなければならない」とし、「その取り組みの推進となるのが労使間の協力である」という認識を示している。

にもかかわらず春季生活闘争については、相変わらず総額人件費の「適切な管理」に固執し、「ベースアップを実施する余地はなく、賃金カーブの維持、あるいは定期昇給の実施の取り扱いが主要な論点になると考えられる」としている。労使間で確認済みの制度に対してさえその実施を疑問視する態度を示していることは、労使の信頼関係を揺るがしかねない。

「企業内最低賃金協定」の締結について「慎重な対応」を求めることは、自ら述べている「自社の支払い能力に即して決定」という原則からの逸脱であり、経営サイドの一方的な主張となっている。

われわれ連合長崎は、日本経済の閉塞感を打破するためにも分配の歪みを是正し、すべての働く者のデーセントワークを確立する闘いを構成組織、地協が一体となって進めていくことを再確認する。

日本の労働組合員数は、バブル崩壊後の1994年をピークに急落し、この10年間で約250万人減少した。2011年は9,960,609人であり、1964年以来、実に46年ぶりに1,000万人を割り込んだ結果、昨年の推定組織率は18%を初めて割り込み、過去最低の17.9%となった。

組合員の減少は、働く人たちの声を集約して政策に反映させる力や、社会全体への発信力など、社会的影響力の低下と直結する。

また、各産業が健全に発展していくためには、その産業で働く労働者の代表と業界団体・経営者団体との協議の場が必要であり、各職場・各産業で労働組合が組織されていることは、日本の労使双方にとっても重要である。

しかし、現在、雇用労働者のうち約81.5%にあたる約4,500万人が労働組合に入っていない。このことは、働く人たちが経営側と雇用や労働条件、職場環境などについて話し合う場がない企業が大多数である。特に中堅・中小企業の組織率は低く、1,000人未満の企業は14.2%、100人未満は1.1%であり、合せて3,554万人がいわゆる未組織労働者だ。

連合長崎は、組織拡大を運動の最重要課題と位置づけ、増加する非正規労働者も視野に入れ、すべての職場に「集团的労使関係」の構築をめざし、地域で職場で組織拡大のための行動を展開する。

今夏実施される第23回参議院議員選挙は、今の国会情勢等からすれば極めて重要な意味合いを持つ戦いである。今の時代に生きる私たちの責任として、生活者、働く者の視点にたった政策を実現し、「雇用」と「暮らし」、平和を守るために、長崎選挙区「大久保ゆきしげ」候補と連合組織内比例候補全員の必勝に向け、連合長崎の総力を結集し全力で戦い抜く。

以上、宣言する。

2013年2月12日

連合長崎 第36回地方委員会

高井良芳行
新執行委員



ガンバロー三唱

連合長崎2013春季生活闘争討論交流集会

～すべての労働者の処遇改善を追求し 「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう!～

3 春季生活闘争討論



森 連合長崎会長

2月2日(土)、矢太樓南館において、約100人の仲間が集まり「2013春季生活闘争討論交流集会」を開催しました。

集会は森会長・石井中小共闘センター委員長のあいさつで始まりました。

昨年までは、春闘討論集会を「中小討論集会」と「県討論集会」の2回に分けて開催し、それぞれの集会で交流を深めていました。本年度はこの二つの討論集会を一つにして開催し、本部と県連合からの提起は同じ会場で行い、分散会は大手産別と地場産別に分かれ意見交換を行いました。

交流会は参加者が一堂に会して行われ、産別の枠を超えた交流が行われました。

集会で確認された具体的な取り組みは以下のとおりです。

【会次第】

1. 2012年度 連合の重点政策

- 参議院選挙候補予定者あいさつ
大久保潔重 参議院議員
- 基調講演
演題：2013春季生活闘争方針提起ならびに労働者派遣法・労働契約法・高齢法改正への対応について
講師：連合本部副事務局長 安永 貴夫氏

● 問題提起

「連合長崎2013春季生活闘争の取り組みと2013地域ミニマム運動について」

佐竹 明彦 連合長崎中小共闘センター事務局長

● 特別報告

「自治労全国一般長崎市方労組ミカド観光支部解雇撤回の闘い」

ミカド観光センター労組支部 神元 淳也 書記長

● 分散会

〈第一分散会〉

「2013春季生活闘争における大手産別の取り組みについて」

座長 森 光一 連合長崎会長

助言者 安永 貴夫 連合本部副事務局長

〈第二分散会〉

「2013春季生活闘争地場産別・単組の取り組みについて」

座長 佐竹 明彦 連合長崎中小共闘センター事務局長

助言者 石井 健次 連合長崎中小共闘センター委員長

● 労金、全労済からの取り組み要請

九州労働金庫長崎県本部：口石昭弘副課長

全労済長崎県本部：原田隆史事業推進部長

【2013春季生活闘争の具体的な展開】

1. 連合の取り組み

- ①「傷んだ雇用・労働条件」の復元に向けた賃上げ・労働条件の改善
- ②「非正規共闘」の体制を強化し、すべての労働者の処遇改善の実効性を高める
- ③「生産性三原則」にもとづいた労使関係の強化をめざす
- ④ワーク・ライフ・バランスの実現
- ⑤ワークルールの取り組み

2. 連合長崎の取り組み

- 1) 経営者団体への要請行動
経営者協会、商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会との協議の場を追求する。
- 2) 戦術会議、支援オルグ等の取り組み

構成組織との連携強化のため、戦術会議、支援
オルグ等を取り組むこととし、また、構成組織の
理解と協力を得て単組オルグを実施する。

- 3) 構成組織地場産別代表者会議の開催
連合長崎と地場産別との連携、産別による単組
への支援を目的に連合長崎構成組織地場産別代表
者会議を開催することとする。
- 4) F A Xニュースの発行
地場組合の賃上げ結果の情報交換、賃金交渉の
状況と闘いの支援のために「F A Xニュース」や
「中小闘争本部ニュース」を発行する。そのため
にも、各構成組織における交渉結果（要求内容・
交渉の進捗状況・妥結内容）の開示を求める。
- 5) 「なんでも労働相談ダイヤル」の開設
①未組織（非正規含）労働者に対し、各種労働問
題に関する相談に対応するため、2013春季生
活闘争期間中「なんでも労働相談ダイヤル」
の取り組みを強化する。
 - フリーダイヤル 0120-154-052
- 6) 最低賃金の取り組み
構成組織は産別・企業内最低賃金（全従業員対
象）の協約化に取り組む。
また、組合のない職場の労働条件向上に向け、
3月上旬に「最低賃金要求書」を労働局に提出す
る。なお、具体的な取り組みは「連合長崎最低賃
金対策委員会」で協議し進めることとする。

3. 各地協の取り組み

- 1) 各地協における闘争本部の設置
地場中小組合の2013春季生活闘争支援のため
に各地協毎に地協中小闘争本部を設置し具体的
な取り組みを進めることとする。
- 2) 2013春季生活闘争開始宣言集会の開催
2013春季生活闘争のスタートの共有化をはか
るため、2月4日（月）～28日（木）までの間に

各地協での集会等を開催する。

- 3) 「なんでも労働相談ダイヤル」の取り組み
周知活動として各地協において街宣行動を実施
する。
- 4) 2012春季生活闘争各地区総決起集会の開催
大手産別のヤマ場である3月中旬をゾーンとし
て、各地協で総決起集会を開催する。
- 5) 中小労組解決促進集会の開催
4月中～下旬に地場中小組合の解決促進のため
に地区集会などを開催することとし、集会内容に
ついては中小組合の交渉状況等の情報交換と交流
をはかる内容とする。
- 6) 各地協での情報交換と連携強化の取り組み
地場中小組合における交渉状況などの情報交換
のために激励オルグの実施、交流会の開催、地協
ニュース等の発行など各地協で工夫した取り組み
を行う。

4. 構成組織の取り組み

- 1) 賃金引き上げ等の要求については、構成組織の
方針を基本に取り組む。
- 2) 要求書提出は、2月末までに全組合が要求書提
出に努めることとする。
- 3) 回答ゾーンについて
 - 3月11日～15日：
第1先行組合回答ゾーン（最大のヤマ場：
3/13～14）
 - 3月18日～22日：第2先行組合回答ゾーン
 - 3月25日～29日：中小集中回答ゾーン
 - 4月中旬：中小回答ゾーン
 - 5～6月以降の闘い方：
連合長崎役員による激励行動。
- 4) 解決目途については、4月末日を当面の目途と
する。



石井 健次
連合長崎中小共闘センター委員長



大久保潔重
参議院議員



安永 貴夫
連合副事務局長



神元 淳也
ミカド観光センター労組支部書記長

五島市議会議員選挙

草野久幸氏(連合長崎推薦)が見事当選!

五島市議会選挙は、1月27日(日)告示・2月3日(日)投開票の日程で行われました。連合長崎は現職の草野久幸氏(58歳:民現)を推薦し、地協・構成組織が全力で取り組みを行い、三度市議会に送り込むことが出来ました。

五島地協を中心に全組織・全組合員が一丸となった運動を展開していただきました。皆様のご協力に感謝します。本当にありがとうございました。

他の地協もこの勝利を弾みに、これ以降の闘いに勝利するよう取り組みの強化をお願いします。

【開票結果】 草野 久幸(組織外) 当選7位 1,168票

西海市議会選挙

中野議長の推薦を決定!

4月21日(日)投票予定の西海市議会議員選挙で、連合長崎は中野良雄氏の推薦を決定しました。各構成組織・各地協は当選に向けた取り組みをお願いします。

○西海市議会議員選挙(2013年4月14日告示:4月21日投開票)

●中野 良雄(なかの よしお) 67歳 組織内(情報労連)

民主党 現西海市議会議長(西海市議2期)

今後予定されている選挙日程(2月12日現在)

連合長崎推薦候補者全員の当選を目指そう!

(1)市長・町長選挙

市名	任期満了	告示日	投票日
諫早市	4月9日	3月31日	4月27日
西海市	4月30日	4月14日	4月21日
佐々町	6月25日	6月11日予定	6月16日予定
平戸市	11月5日	未定	未定

(2)市議会・町議会議員選挙

市・町名	任期満了	告示日	投票日
諫早市	4月39日	3月31日	4月7日
新上五島町	4月23日	4月9日	4月14日
西海市	4月30日	4月14日	4月21日
対馬市	5月31日	5月12日	5月19日
佐々町	6月25日	6月11日予定	6月16日予定
壱岐市	8月6日	未定	未定
平戸市	11月5日	10月予定	10月予定
雲仙市	11月19日	未定	未定

※諫早市議会議員選挙連合長崎推薦候補者

宮崎 博通(みやざき ひろみち) 65歳 (民主党・現諫早市議6期)

林田 保(はやした たもつ) 63歳 (民主党・現諫早市議2期)

松永 隆志(まつなが たかし) 55歳 (民主党・現諫早市議2期)

※西海市議会議員選挙連合長崎推薦候補者

中野 良雄(なかの よしお) 63歳 (民主党・現西海市議2期)

「なんでも労働相談ダイヤル」の開設!

2013春闘の取り組みの一環として、2月4日(月)18時から浜の町アーケード(旧大丸前)で、連合長崎と連合長崎地協と一緒に「なんでも労働相談ダイヤル」の啓発活動を行いました。

- フリーダイヤル
0120-154-052



「在日米軍基地整理縮小」と「日米地位協定の抜本見直し」を実現する日出生台シンポジウム

1月20日、大分県玖珠郡玖珠町「くすまちメルサンホール」において、連合九ブロック連絡会・連合大分共催による『在日米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本見直し』を実現する日出生台シンポジウムが開催され、九州ブロック各地方連合会をはじめ約900人、連合長崎からは65人が参加しました。今年が日出生台演習場での米軍演習が5年に一度行われない年であるため、例年の集会に代わってこのシンポジウムが開催されました。

このシンポジウムは、基調講演と、パネルディスカッションの二部構成で行われました。

基調講演では、元内閣官房副長官補の柳沢協二氏が「アメリカのアジア戦略と基地問題」と題して、

1996年の米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の返還合意から現在までのアメリカの軍事戦略を紹介しながら、沖縄基他の位置付けの変移を説明しました。

パネルディスカッションでは、玉城義和沖縄県議が、日米地位協定の各条文の問題点などを指摘し「11項目の改定の要請を続けているが、残念ながら一歩も前進しない。抜本見直しをしてほしい」と呼びかけました。外務省の河邊賢裕北米局日米地位協定室長は、これまで行った地位協定の運用改善について説明した上で、世論の後ろ盾があれば、アメリカとの交渉はやりやすくなる。国民一人一人が現状について真剣に考えてほしい」と求めました。



長崎からの参加者

2013年連合長崎 地域協議会・ブロック連絡会議 役員紹介 (2013年2月13日現在)

地域協議会名	議 長	事務局長	書 記
長崎地域協議会	 峰 義彦 (基幹労連)	 入江 良美 (交通労連)	 草野いづみ
長崎地域協議会 西彼北部ブロック連絡会議	 中津野 操 (基幹労連)	 西川 研一 (J P労組)	
諫早・島原地域協議会	 大木 豊 (日教組)	 五島 喜盛 (自治労)	 池田多佳子
諫早・島原地域協議会 島原ブロック連絡会議	 高見 俊治 (自治労)	 城田 伸広 (J P労組)	
大東・杵岐・対馬地域協議会	 八島啓介(代行) (自治労)	 塩入 高志 (全水道)	 川本 文子
大東・杵岐・対馬地域協議会 杵岐ブロック連絡会議	 長嶋 武 (私鉄総連)	 赤木 修 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会 対馬ブロック連絡会議	 鶴岡幸太郎 (J P労組)	 八島 啓介 (自治労)	
佐世保地域協議会	 菊永 昌和 (自治労)	 鴨川 博明 (基幹労連)	 本郷 栄子
佐世保地域協議会 北松ブロック連絡会議	 吉元 彰二 (自治労)	 近藤 健 (自治労)	
五島地域協議会	 峰 直樹 (電力総連)	 高井良芳行 (J P労組)	 大島 鶴恵
五島地域協議会 上五島ブロック連絡会議	 大久保 睦 (日教組)	 松岡 貢 (自治労)	

**地域に根ざした活動を基本に県連合会とともに、
地域課題の解決に全力で取り組みます。** 地域協議会一同